

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和6年度第5回理事会議事録

日時：令和6年9月18日（水）19時00分～21時10分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoom ミーティング）

議長：原田

議事録作成：神田

出席：

（東京都臨床検査技師会事務所にて参加）27名

原田、中村、米山、山方、浄土、竹澤、加藤、近藤、堀口、浅野、飛知和、末永、市川、岩瀬、府川、堀田、沖倉、本間、乙川、猪俣、伊藤、長島、神田、高橋監事、長島監事、遠藤監事、牧子：（役員候補者選出委員会委員）

以下の出席者は、Web会議システム「Zoom ミーティング」により参加した。

（職場から参加）1名

宿谷：勤務先 千葉県浦安市日の出 6-8-1 順天堂大学医療科学部浦安・日の出キャンパス

計28名

欠席：山崎

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声と同時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

- ・臨時理事会議事録が承認された。
- ・令和6年度第4回理事会議事録が承認された。
- ・2024年度第4回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

（1）学術部会

- ・第4、5回学術部会報告がなされた。
- ・臨床化学検査研究班からニッポーメディカル株式会社との研修会共催願いについて審議依頼がなされた。
- ・一般検査研究班からアークレイマーケティング株式会社との研修会共催願いについて審議依頼がなされた。
- ・血液検査研究班の研修会が講師の体調不良により中止になった件について、同内容のものを12月に開催することとなった旨の報告がなされた。
- ・微生物検査研究班の研修会で研修会前日に講師2名のうち1名が体調不良となり、体調不良1名の代行を立てることが難しいとの連絡があった。学術部としては当日1名のみの講師で研修会を行い、後日体調不良1名分の講演をオンデマンドで配信するように指示する対応をとった。研修会は無事に終了している。
- ・受講料を徴収して開催される実技講習会(研修会)の返金基準について、これまで新型コロナの流行に伴い、研修会の欠席理由に応じて受講料を返金する対応を特殊事例として実施してきたが、各研究班により対応が異なるため、対応を統一してほしいとの提案があった。実技講習会の開催案内では、欠席した場合の受講料の返金はしないと案内している他、欠席理由の申告漏れや新型コロナ感染の事実関係も証明できないため、ムラのある対応となっているため、新型コロナの流行前の対応である欠席者にはテキストの送付のみを行い、受講料の返金は今後しないこととした。
- ・賛助会員の学会、研修会・講習会への参加人数について、参加人数の記載が削除されていたため賛助会員から問い合わせがあった。学術部会において、各班長への負担がかからない程度の参加人数とするとしていたことから、今後、庶務部で発行する賛助会員の学会・研修会への参加人数の案内は、「学会(5名)、研修会・講習会(各2名)」とし、2018年12月に案内された賛助会員公募案内と同様とする案が提示され、承認された。
- ・研修会に参加した学生会員の確認方法について、学生会員はGoogleフォームを利用した研修会の事前登録を行っているため、会員番号のみの確認だけであり、なりすましでも受講できてしまう問題がある。対応について様々な意見が出たが、会員本人の申請を信用することとした。
- ・新しく入会した会員の会員証のバーコードで読み取りエラーが多く発生しているとの報告があったため、都臨技の会証(ロゴ)を変更するタイミングで対応を検討することとした。

（2）編集委員会

- ・第2、3回編集委員会報告がなされた。
- ・会誌6月号の発行が遅延しているが、日本産業社からは6月号と10月号の初稿がまだあがってきていない状況である。
- ・今後の杏林舎に変更してからの2月号のスケジュールは入稿時期が早く設定されており11月1日となっている。今後見本版を作成し10月の理事会で確認してもらう予定である。

（3）精度管理調査委員会

- ・第3回精度管理調査委員会報告がなされた。
- ・登録されている施設の検体受け取り担当者に実施要項を送付していたが、今回名簿に従いメールをしたところ担当変更や退職などにより募集期間内に申し込みが少なかった。（例年220施設程度であったが180施設くらい。）そのため施設連絡者あてに連絡

を行ったが 10 施設程度しか増えなかったため、全会員向けにメールし申し込み期間も延長を行った。来年度に向けて対応を検討中である。

(4) 生涯教育制度実行委員会

- ・2024 年 7、8 月の生涯教育制度実行委員会の報告がなされた。

2) 学会運営部

(1) 第 19 回東京都医学検査学会

- ・9 月 9 日に学会運営委員会が開催された。
- ・協賛会社が決まり、リスト化して提出した。また 11 月末までに振込が完了するように案内をお願いした。
- ・募集していた演題数が 27 演題しか集まっておらず 40 演題ほどを予定しているため、自施設での働きかけをお願いしたい。
- ・事前参加登録を今のうちに行ってください。演題登録をされた方でもまだ参加登録がされていない会員がいるため、自身の施設にそう言った方がいた場合には声かけをお願いしたい。

3) 支部運営

(1) 各支部

東支部：8 月 1 日に幹事会を開催し、第 19 回東京都医学検査学会の実務員と 9 月までのタスクシフトの実務員を決定した。10 月以降は調整中である。区民まつりは 10 月 13 日に江戸川区民まつり、10 月 20 日に江東区民まつりに参加予定であり実務委員はそれぞれ 6 名ずつ決まっているが残り調整中である。予算について機材と備品のレンタル代金の値上げしたため会計部に予算の増額を依頼している。

西支部：9 月 17 日に幹事会を開催した。健康まつりは 10 月 6 日に稲城・健康まつり、10 月 20 日に小平市民まつりに参加予定であり、HP で公募を行っている。参加者はおおかた決定した。タスクシフトについては来年の 1 月 25 日の大規模開催までの実務員をほぼ決定した。お祭りの機材レンタル代金は、値上げはなく予算を超過することはないことがわかっている。プラスワン研修会はテーマを災害に関することとし、日本医大多摩永山病院の大堀幹事に依頼している。

南支部：タスクシフトは今後の実務員をほぼ確定した。お祭りは 11 月 2 日、3 日渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバルに参加する。機材レンタルなどの予算の変更はないことがわかっている。

北支部：8 月 14 日に幹事会を開催した。お祭りは 10 月 20 日の大新宿区まつりに参加予定である。機材レンタルなどは見積を確認し前年度と同額であることがわかった。お祭り以外の参加企画は今後の幹事会で決めていく予定である。次回の幹事会は 10 月末か 11 月中旬に開催予定である。タスクシフトの実務員は 1 月 25 日以外の日程の実務員を決定した。

- ・副支部長の選出を各支部幹事会にておこない、以下の幹事が選出されたので審議依頼がなされた。

東支部：星本淳吉 氏

西支部：我妻美由紀氏

南支部：板橋匠美 氏

北支部：高橋辰也 氏

(2) 選挙管理委員会

- ・第 3 回選挙管理委員会を 9 月 2 日に開催した。
- ・電磁投票について、末永理事から提案のあった 1 社について投票システムの紹介と見積もりの説明があった。個人情報補取り扱いなどは問題なさそうであり、具体的に電磁投票導入に対しての実感が持てた。この他 2 社の投票システムが存在するため今後検討を行っていく。

- ・規程の改定について、次回の委員会までに改定案を作成し、審議する。12 月の理事会に提出することを目標としている。

- ・末永理事から投票システムの候補となる 3 社について費用や機能面について説明があった。

(3) タスク・シフト/シェア講習会

- ・タスクシフトの今後の予定

東京都（文京学院大学）：10 月 27 日、11 月 10 日、12 月 1 日、12 月 22 日

大規模開催：10 月 19 日（9 月 1 日の代替日）、1 月 25 日

- ・10 月 19 日の大規模開催は 100 名ほど余裕があるため、未受講者に参加を促して欲しい。
- ・新理事の方で未受講の方がいれば、早めに受講してもらいたい。

4) 地域保健共催事業部

(1) 検査と健康展

- ・11 月 9 日（土）新宿高島屋タイムズスクエア 2 階 JR 口公開空地で開催予定。
- ・東京都の使用申請許可が承認された。
- ・後援名義使用の許可がおりたため、チラシに盛り込み作成を行った。
- ・レンタル会社を 1 つにまとめ、血管年齢測定 2 台、ストレスチェック測定 2 台、骨健康度測定 2 台、乳がんモデルを用いた触診体験 3 台を準備する。

- ・想定よりもやるが多く、実務員の増員を考えている。

- ・白衣をエイズフェスでも使用するため、白衣とスクラブを 3 サイズ 1 枚ずつ、ナギイレベンから 1 か月レンタルする。

(2) エイズフェス

- ・エイズフェスに参加予定であるが、開催が 12 月 7 日の予定であり第 19 回東京都医学検査学会の前日であるため幹事だけで参加する方向で進めている。

- ・イムノクロマト体験やフォトスポットの設置を考えている。

(3) 学生対象講演

- ・学生対象講演会は 9 月 7 日（土）国立オリンピック記念青少年総合センターで開催した。内容は臨地実習に向けた事前準備や心構えについてなどを、実習指導者の立場から 2 名、新人臨床検査技師の立場から 2 名の計 4 名の講師の方にご講演いただいた。
- ・参加者は学生 31 名、会員 1 名の計 32 名であった。

(4) 都民公開講座

・第 19 回東京都医学検査学会内で開催予定である。

・講演内容は専門医による性感染症についてで、講師は都立駒込病院の今村顕史先生に依頼している。その後、30 分程度で S T I 予防委員会の活動紹介を行う予定である。

・広報については健康祭りで配布することを考えチラシを早めに印刷し準備する。

・後援名義使用の依頼については千代田区は承認されたが、東京都は承認連絡待ちの状態。東京都の承認が下り次第、チラシの配布をおこなう予定。

(5) S T I 予防教室

・今年度の予防教室の予定として、9 月 26 日に東京電子専門学校、11 月 2 日に新渡戸文化短期大学での S T I 予防教室を予定している。

(6) 社会人交流会

・昨年度までは、検査技師が出向いて体験談のお話を行うスタイルであったが今回は職場を見ながらインタビューをしたいという依頼であった。東京女子医科大学が今回受け入れをして下さることになった。

・他の施設も受け入れをして欲しいという依頼があったが、都外であったため各地臨技で対応して頂くようお願いした。

(7) 教育施設連絡者会議

・タスク・シフト実技講習会用シミュレーター貸出と返却を行った。

・杏林大学へ貸し出しを行ったが台風の影響で吸引器の貸し出しを延長した。

・東京公衆衛生学園から貸出依頼があり、9 月 17 日に対応した。

(8) その他報告

・以前に当会の名前入りで動物付箋を作成したが、依頼した会社が名前入りの例として HP に無許可で写真の掲載を行っていた。

許可もなく掲載をしていたため連絡をし、掲載の取り下げを依頼した。その後、削除されたことも確認した。

5) 会計部

(1) 会計部報告

・2024 年 8、9 月の会計部報告がなされた。

・2024 年 7、8 月の収支会計報告がなされた。

・第二四半期の行動費の提出が依頼された。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

・庶務部報告がなされた。正会員数 7640 名、賛助会員 67 社、学生会員 44 名、名誉会員 12 名。

・新入会会員の審議依頼がなされた。

・新入会学生会員の審議依頼がなされた。

・学生会員の一括入会時に学校や教員に向けてフォーマットを送付する対応をとった。今後のために文章として対応を残す事とした。

・理事会の運営規程の改定について提案をおこなった。内容として、理事会の招集方法を郵送だけでなく電子的通知でもできるように内容を変更し新旧対照表として提出した。

・理事会の席次表を作成した。

・退任届を作成し、運用の確認を行ったが他の規定と齟齬があることが判明した。そのため今後は規定のチェックを行い退任届に関する規定を作成する。

・9 月 22 日に理事研修会を開催する。

・事務所の照明から煙があがった事例があった。すべて LED に変更すると全部で 56 基となり、費用が高額になることが見込まれる。現物を確認して頂き、3 社程度合い見積もりを取る予定である。

(2) 役員候補者選出委員会

・9 月 5 日第 3 回役員候補者選出委員会が開催された。

・次年度に HP 役員の候補者一覧を開示した際に経歴の同時掲載をすることについて

1) 掲載の目的を示してほしい。

原田会長より、掲載の目的について、代議員が役員の経歴を事前に確認する必要がある旨、説明があった。

2) 規程・方針に定められている、個人情報保護方針の 3. 個人情報の取り扱いに基づき、同意を得られなかった場合、候補者の取り扱いに公平さが担保できない可能性がある。

原田会長より、理事は公人同等でありある程度の情報を開示する必要性があり、同意を得られない場合は空白として掲載していただいて構わないとの説明があった。

・役員候補者選出規程 第 6 条 4 項「役員に就任する場合には勤務先の所属長の了承を得る事とし、所定の所属長承諾書を都臨技(庶務部)に提出しなければならない。」とあるが、実務は庶務部で行うことで確認を行った。

7) 事務局

(1) 事務局報告

・2024 年 7、8 月の事務局報告がなされた。

・日臨技より、地域ニューリーダー育成研修会の受講申請及び推薦について依頼があり、堀田理事、沖倉理事、伊藤理事の中から 1 名を選出する。

・日臨技より、令和 6 年度 都道府県技師会リーダー育成研修会の開催案内が届いており、開催については青年育成委員会で検討する。

・事務所のエプソンプリンターの保守に関する案内について契約内容の案内があった。

・日臨技の認知症ワーキンググループ認知症予防啓発活動の提案について、HP に 1 か月間バナーを掲載することとしている。

・東京豊洲 万葉倶楽部から入館料の割引券が届いている。

- ・第 41 回私立医科大学臨床検査技師会学術研修会の後援依頼と広報依頼があり、例年通り承諾をした。
- ・超音波スクリーニング研修講演会 2024 東京の後援依頼と広報依頼があり、例年通り承諾をした。
- ・第 23 回東京都輸血療法研究会の後援依頼と広報依頼があり、例年通り承諾をした。
- ・著者抄録利用許諾（再許諾）の依頼について審議依頼がなされた。
- （2）表彰選考委員会
- ・8 月は休会
- （3）広報委員会
- ・2024 年 8 月分の HP の更新回数と更新内容について報告がなされた。
- ・ホームページリニューアルはラフまで作成され、現在レイアウト修正など行っているところである。
- （4）青年育成委員会
- ・Web 研修会は 9 月 26 日に開催が決定した。当日病理研究班と開催が重複してしまいウェビナーが使用できない事態となったが、理事会の Zoom ミーティングアカウントを使用し、100 名で開催することになった。今回非常に反響がよかったため、次回はウェビナーを使用し開催できるように環境を整えていく。
- ・支部幹事交流会は 10 月の土曜日に日程調整を検討していたが、学会や健康祭り、タスクシフトが重なり開催が難しい状況となった。今年度中に開催できるように日程を再調整する。
- ・学会企画委員会に企画書と抄録を提出した。内容は若手検査技師向けのものを検討している。当初は当直に関連する出題をし、回答していただくだけであったが、青年育成委員会の紹介や活動報告も行うことも検討し 60 分間の講演となっている。現在、出題内容や発表者を検討中である。

8）副会長報告

- ・特になし

9）会長報告

- ・令和 6 年度大規模地震時医療活動訓練（政府訓練）の実施について原田会長より説明があった。千葉県の DMAT に千葉県の臨床検査技師会が参加する形となっており、千葉県を震源とした大規模な災害が起きたことを想定しているため、隣県である東京都と埼玉県が協力をする。実際には、日臨技で災害対策本部を立ち上げたあと地臨技でも対策本部を立ち上げることとなり日臨技から指示と報告の連絡が入る形となる。都臨技としての連絡担当は米山副会長が担当し、9 月 20 日の打ち合わせは山方副会長が出席することとなった。
- ・日臨技より令和 6・7 年度 役員候補者選出委員会委員の選出依頼があり、資格審査委員として山方副会長が選出された。
- ・9 月 26 日日臨技 第 3 回支部長連絡会が開催される。他支部から会議の議題があがっているが今後、他支部の活動などについて知りたいことや質問があれば、原田会長が議題として提出する。
- ・チーム医療推進協議会から 2024 年度の研修会案内が来ている。参加を希望する方がいれば受け付ける。
- ・来月の理事会は日臨技から横地会長が参加される。

3. 審議事項

- 1）臨床化学研究班から提出されたニッソーボーメディカル株式会社との研修会共催願いについて審議の結果、承認された。
- 2）一般検査研究班から提出されたアークレイマーケティング株式会社との研修会共催願いについて審議の結果、承認された。
- 3）副支部長候補者 4 名について審議の結果、承認された。
- 4）新入会会員 65 名（新入会 57 名、再入会 8 名）について審議の結果、承認された。
- 5）新入会学生会員 23 名について審議の結果、承認された。
- 6）理事会運営規定の改定について審議の結果、承認された。
- 7）著者抄録利用許諾（再許諾）の依頼について審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し 20 時 46 分に解散した。本日の Web 会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

2024年9月18日(水)

公益社団法人 東京都臨床検査技師会
議事録作成 神田裕介

議長
(原田)

原田典明



監事
(高橋)

高橋秀治



監事
(長島)

長島義男



監事
(遠藤)

遠藤盛人

